

【日越大学メールマガジン Vol.17 2018年10月号】

日越大学は、日本とベトナムの両政府により、両国の友好と結束の象徴として新たに設立された大学で、2016年9月にベトナム・ハノイで開校しました。現在修士課程に2期生82名、3期生83名の学生が在籍し、共通科目の日本語と英語の習得に加え、地域研究(MAS)、企業管理(MBA)、公共政策(MPP)、ナノテクノロジー(MNT)、環境工学(MEE)、社会基盤(MIE)、気候変動・開発(MCCD)の各専攻プログラムを勉強しています。

【今月のトピックス】

1 日越大学ニュース

二階俊博自由民主党幹事長ご一行の来学

9月26日に、チャン・ダイ・クアン前国家主席の国葬に日本政府総理特使として参列された二階俊博自由民主党幹事長を初め、林幹雄衆議院議員、武部勤日越友好議員連盟特別顧問、梅田邦夫ベトナム駐箚特命全権大使、石川浩司アジア太平洋州局審議官他が来学されました。

日越両国のシンボルとして設立された日越大学で学ぶ学生にエールを送りたいというご希望で、過密スケジュールの間を縫ってお越し頂きました。

まず、古田元夫学長から本学概要説明、質疑応答がおこなわれました。二階幹事長からは「日越大学は日越両国の貴重な財産であり、今後も応援していきたい。」という力強いエールを頂きました。

その後、環境工学プログラムの講義を視察された際に、学生達と短い懇談をされましたが、学生達は一様に緊張した様子でした。



2018年度 ODA ツアーご一行来学

10月2日に JICA への投資家の方々を中心とした ODA ツアー25名の皆さんが来学されました。JICA は、主に開発途上地域におけるインフラ整備など経済・社会発展への取組みを支援する有償資金協力事業に活用するために、「ソーシャルボンド」という、国際資本市場協会 (International Capital Market Association : ICMA) が定義する「ソーシャルボンド」の特性に従った、社会課題の解決に資する事業を資金用途とする債券を発行しており、今回の皆さんはその投資家の方々

で、各国で実施している JICA 事業の視察の一環として、本学にお越しになりました。まず、日越大学の概要ビデオを視聴して頂いた後、古田元夫学長からパワーポイントを活用して本学の説明がおこなわれ、その後、学内を視察されました。参加者の皆さんは、ベトナムにとって不可欠な人材育成に日本が積極的に協力をおこなっている現場を視察され、投資した資金が有効に活用されていることを再認識して頂いた様子でした。



ベトナム投資カンファレンスにて ANA ホールディングス株式会社と連携協定を交換

10月10日都内にて開催されたベトナム投資カンファレンス（独立行政法人日本貿易振興機構（JETRO）主催）に、日越大学も登壇し、ANA ホールディングス株式会社との連携協定を交換いたしました。

当日は、日越両国から約 1,000 名の企業関係者が参加し、日越大学を含む 19 組の協定交換式が執り行われました。



JASSO 主催の留学フェア

10月7日、ハノイ市内で開催された日本留学フェア（独立行政法人日本学生支援機構 主催）に日越大学も出店しました。

当日は、日本留学を希望する学生や保護者が多くつめかけました。日越大学ブースには、日本留学と並行して、ベトナム国内で教育を受けることを検討している方が多く立ち寄られました。英語だけでなく日本語を流暢に話す学生も多く、当地の若者の優秀さにいつも驚かされます。



日越大学幹事校会議開催

10月26日(金)に幹事校会議が開催されました。本会議では、古田元夫日越大学学長から①現状報告、②日越大学発展戦略、財務計画、③コンソーシアム立ち上げについて、④修士課程プログラムの入試、論文作成などに関する日越大学の規定の変更について等の報告があり、今後の日越大学の方向性に関する報告、議論がおこなわれました。また、JICA本部より、次期技術協力プロジェクトについての考え方、及び今後のスケジュール等の説明がありました。

2 日越大学第三期生へのインタビュー

今年9月10日に希望に胸を膨らませて、本学の門をくぐった、7プログラム83名の第3期生を迎えました。そこで、今月号から3回に亘って、外国人新入生の声をお伝えしたいと思います。まずは、初めてのミャンマーからの留学生として来越したNan Kay Zar Phone Myint(ナンカイ)さんです。ナンカイさんは、9月からMBAプログラムで勉強をしています。

Q (VJU) : 初めて日越大学のことを知ったのはいつですか？

A (ナンカイ) : 今年の6月にヤンゴンで行われた、日越大学の学生募集説明会に参加しました。ちょうど海外の大学院の奨学金プログラムを探していたときで、日越大学は奨学金プログラムが充実していて、日本人教員が多いのが魅力でした。また、以前、日系企業で秘書を5ヶ月間していたことがあり、日本には以前から興味がありましたが、日越大学に受かるとは思っていませんでした。

Q (VJU) : 日越大学に入ってみて、どうですか？

A (ナンカイ) : 忙しいです。4時間続けての授業は初めての経験です。ベトナム人の学生もとても一生懸命勉強しているので、最初はカルチャーショックでした。プレッシャーもありました。でも、今はもう慣れました。あと、日越大学はグループワークが多くて、学生中心の講義スタイルが特徴的ですね。日本語の授業は好きです。逆に、専門科目のクラスが大変です。

調べること、考えることが多くてすごく時間がかかりますね。でも、ミャンマーでは学費を稼ぎながら大学に通っていたので、それに比べれば、今は奨学金をもらえて、勉学に集中できるのはありがたいです。

Q (VJU) : ベトナムでの生活はどうですか？

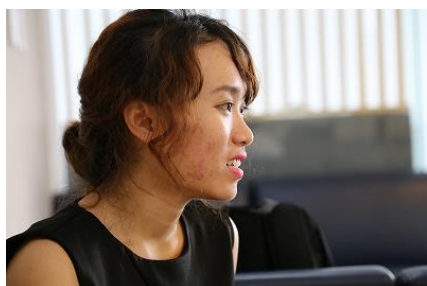
A (ナンカイ) : 授業は大変ですが、生活は楽しいです。食べ物はフォーが好きです。ミャンマーと似た料理が多くありますが、味は甘めですね。宗教がミャンマーと異なるのも面白いです。元々は同じ仏教なのに、ベトナムのお寺はミャンマーと非常に違うのも興味深いです。妊娠をしてお腹が大きくなっている女性が歩き回っているのを見たときは驚きました。ミャンマーでは、お腹が大きくなると外を出歩かないです。

Q (VJU) : ホームシックにはなりませんか？

A (ナンカイ) : ミャンマーの友達には会いたいですが、ホームシックはありません。日越大学は留学生がいますし、ミャンマーからの留学生とはルームメイトなので寂しくはありませんね。2月の旧正月のときに一時帰国しようと思っています。

Q (VJU) : 卒業後の予定は何ですか？

A (ナンカイ) : ミャンマーに帰国します。ただ、異文化の中で働くことが好きなので、多国籍企業や NGO で働きたいと思っています。また、父が小さい会社を経営していて、とてもハードワーカーなので、日越大学で学んだことを活かして手伝いたいと思っています。



3 今後の主な予定、行事

日越大学第2期インターンシップ生 来日記念交流会 東京 麹町にて開催

日越大学と JICA (独立行政法人国際協力機構) は、11月12日、ホテルルポール麹町(千代田区)にて、現在インターンシップ生として来日中の第2期生を集めたレセプションと企業交流会を開催いたします。当日は、野上内閣官房副長官やヴァー・ホン・ナム駐日ベトナム大使が参加される他、日越大学を支援する国内企業や大学関係者が集まります。

お申込方法は、10月29日(月)までに①お名前、②ご所属、③役職、④メールアドレスを、JICA 内日越大学構想・国内支援事務局 (1rtd3-vju@jica.go.jp) までご連絡ください。



(昨年の様子)



【お問い合わせ先】

日越大学・日越大学修士課程設立プロジェクトメールマガジン編集委員会

Tel: +84 (0) 247-306-6001

E-mail: mail.magazine@vju.ac.vn

日越大学 HP <http://admission.vju.ac.vn/>

日越大学 Facebook（ベトナム語） <https://www.facebook.com/vju.edu.vn/?fref=ts>

日越大学 Facebook（日本語） <https://www.facebook.com/jicavju/>

JICA HP

<https://www.jica.go.jp/project/vietnam/040/index.html>

【メール配信停止・変更】

本メールマガジンの配信停止・宛先の変更・追加をご希望の方は、お手数ですが、日越大学・日越大学修士課程設立プロジェクトメールマガジン編集委員会 mail.magazine@vju.ac.vn までご連絡頂ければ幸甚に存じます。